

NDIS 0604, 0605 と JIS Z 2305 の相違点 (概要)

1. 受験申請

	項目	NDIS	JIS (参考資料/HP 掲載)	
1	受験地区 (一次試験)	1 地区のみ (東京地区)	全地区で実施 (春期: 11 地区, 秋期: 10 地区)	(SA1) 新規日程表
2	受験地区 (二次試験)	1 地区のみ (東京地区)	1 地区のみ (東京地区)	"
3	再試験	一次再試験, 二次再試験とも翌期 1 回のみ	一次再試験, 二次再試験とも 2 回 (翌期, 翌々期) 受験可能	(EA9-1) JIS Z 2305: 2013 認証制度における再試験の扱い (具体例)
4	受験申請書類 (提出物)	協会ホームページからダウンロードする。 ・ 受験申請書 (正, 副) ・ 訓練実施記録, ・ 集計表 (訓練実施記録が複数枚になる場合のみ)	協会ホームページからダウンロードする。 ・ 受験申請書 (正, 副) ・ 訓練実施記録, ・ 集計表 (訓練実施記録が 1 枚でも必要), ・ 視力検査証明書 (V-1)	(EA) 新規試験・新規再試験を受ける方
5	視力色覚証明書	受験申請時に提出する必要なし。(新規認証申請時に確認)	受験申請時に「視力色覚証明書」(V-1) の提出が必要。	(EA5) 視力検査証明書 様式 V-1
6	近方視力	Times (New) Roman N6 の文字又はそれに相当する文字を単眼もしくは両眼 (矯正可) で 30cm 以上離れて読めること。	Times New Roman N4.5 [Jaeger number 1 でも可] について 30 cm 以上離れて単眼又は両眼 (視力矯正可) で判読できること。	"
7	色覚	申請する NDT に関係する色彩のコントラストを識別できること。	申請する NDT 方法で使われる色彩又はグレイスケール (灰色の濃淡) 間のコントラストを見分けて識別できること。 申請する NDT 方法において業務上支障がないことを雇用責任者が証明する。	"
8	訓練時間 (TT)	NDIS のシラバスに沿った訓練が必要 ・ TT1 40 時間 ・ TT2 80 時間 (TT1 資格保持者) ・ TT2 120 時間 (TT1 資格非保持者)	JIS のシラバスに沿った訓練が必要 ・ TT1 40 時間 ・ TT2 80 時間 (TT1 資格保持者) ・ TT2 120 時間 (TT1 資格非保持者)	(EA3-3) 新規試験用訓練についての案内 (EA3-1) 訓練実施記録及び集計表 (EA3-2) 訓練用シラバス
9	訓練時間 (LT)	NDIS のシラバスに沿った訓練が必要 ・ LT1 40 時間 ・ LT2 83 時間 (LT1 資格保持者) ・ LT2 123 時間 (LT1 資格非保持者)	JIS のシラバスに沿った訓練が必要 ・ 技法ごとに訓練時間が規定 ・ LT1-48 時間 (圧力法 24 時間 + トレーサガス法 24 時間) ・ LT2-72 時間 (LT1 資格保持者) (圧力法 32 時間 + トレーサガス法 40 時間) ・ LT2-120 時間 (LT1 資格非保持者) (圧力法 56 時間 + トレーサガス法 64 時間)	"

	項目	NDIS	JIS (参考資料/HP 掲載)	
10	訓練時間 (TT3/LT3)	設定なし	JISのシラバスに沿った訓練が必要 ・TT3-40時間 ・LT3-72時間(圧力法32時間+トレーサガス法40時間) ・上記要求時間にはレベル3に共通の基礎訓練8時間を含むこと。 ※TT3実施時期未定	(EA3-3) 新規試験用訓練についての案内 (EA3-1) 訓練実施記録及び集計表 (EA3-2) 訓練用シラバス
11	訓練実施記録	・訓練者 ・訓練責任者	・訓練者 ・訓練証明者	(EA3-3) 新規試験用訓練についての案内
12	訓練者	・受験者が申請するNDT方法の資格(レベル2以上)を保持していることが望ましい。 ・訓練者が資格を保持していない場合は、訓練責任者が訓練者について相応の技術・知識があること証明する。	受験者が申請するNDT方法の資格者である必要はないが、 <u>訓練証明者が「その訓練を行う者として適格と認めた者」</u> であること。	”
13	訓練証明者 (レベル1・2を受験する場合)	—	・訓練実施記録に記載された訓練が適切な訓練であることを証明する者。 ・ <u>受験者が申請するNDT方法の資格(レベル2以上)を保持していること。</u>	”
14	訓練証明者 (レベル3を受験する場合)	—	・訓練実施記録に記載された訓練が適切な訓練であることを証明する者。 ・ <u>レベル3を受験する場合の訓練証明者は、当該NDT方法のレベル3を保持していること。</u> ・ <u>基礎訓練の訓練証明者は当該NDT方法以外のレベル保持者でもよい。</u>	(EA3-3) 新規試験用訓練についての案内 <移行措置> LT3は2019年春期より新設される資格のため、移行措置として期間限定(2019年春期~2020年春期まで)で次の①又は②の資格保持者をLT3の訓練証明者として認めます。 ①LT2資格保持者で、かつLT以外のレベル3資格保持者1名 ②LT2資格保持者とLT以外のレベル3資格保持者の2名
15	受験料	1NDT方法・レベル 12,757円(+消費税)	1NDT方法・レベル 17,000円(+消費税)	(SA1) 新規日程表 受験申請補足資料-A

2. 一次試験・二次試験

	項目	NDIS	JIS (参考資料/HP 掲載)	
1	最小限の問題数 (一次試験)	<ul style="list-style-type: none"> ・ TT1 (一般) 40 問 + (専門) 30 問 ・ TT2 (一般) 40 問 + (専門) 30 問 ・ LT1 (一般) 30 問 + (専門) 30 問 ・ LT2 (一般) 30 問 + (専門) 30 問 	<ul style="list-style-type: none"> ・ TT1 (一般) 40 問 + (専門) 30 問 ・ TT2 (一般) 40 問 + (専門) 30 問 ・ LT1 (一般) 30 問 + (専門) 30 問 ・ LT2 (一般) 30 問 + (専門) 30 問 	(GA2) 資格試験のレベル別概要 (内容と時間) と参考文献
2	採点基準 (一次試験)	一般試験と専門試験があり, それぞれ 70%以上の点数を得たものが合格	一般試験と専門試験があり, それぞれ 70%以上の点数を得たものが合格	(GA1) 認証制度のご案内 (EA2) 資格試験実施案内<新規・再試>
3	採点基準 (二次試験)	80%以上の点数を得たものが合格	各試験体, NDT 指示書 (レベル 2 のみ) で各々 70%以上を得たものが合格	〃
4	試験時間 (一次試験)	120 分 (一般試験 + 専門試験 / レベル 1・2)	120 分 (一般試験 + 専門試験 / レベル 1・2)	(GA2) 資格試験のレベル別概要 (内容と時間) と参考文献

3. 認証申請

	項目	NDIS	JIS (参考資料/HP 掲載)	
1	認証申請期間	二次試験合格後, 3 年間 (計 6 回)	二次試験合格後, 2 年間 (計 4 回)	(CA1) 新規認証申請実施案内
2	審査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経歴証明 ・ 視力・色覚証明 	認証の条件を満足したのち新規認証申請を行うことで, 認証資格を得ることができる。 <認証の条件> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訓練 (受験申請時に確認済) ・ 視力検査 (受験申請, 新規認証申請時に確認) ・ 試験の合格 (合格者に新規認証申請を発送) ・ <u>工業に関わる NDT 経歴</u> *認証資格を得るために必要な「申請する NDT 方法・分野における工業に関わる経歴」 *訓練は, NDT 経歴に含めることはできない。 	(CA1) 新規認証申請実施案内 (CA3) 工業に関わる NDT 経歴について (CA5) 訓練と経歴について
			申請 NDT 方法の経歴において使用した機器材, 実施した技法等を記入する。	〃
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請 NDT 方法の経歴において使用した機器材, 実施した技法等を記入する。 ・ 申請 NDT 方法に関する NDT 経歴記録を 3 件以上記入する。 	〃
3	資格証明書の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規認証申請適格者に資格登録台帳を発行 ・ 資格登録台帳提出者に資格証明書を発行 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規認証申請適格者に認証申請料の払込用紙を同封 ・ 入金確認後, 資格証明書を発行 	(CA1) 新規認証申請実施案内
4	認証申請料	1NDT 方法・レベル 10,000 円 (+消費税)	1NDT 方法・レベル 13,000 円 (+消費税)	〃

4. 資格更新（登録してから5年目）

	項目	NDIS	JIS（参考資料/HP掲載）	
1	更新受付期間	有効期限の4~5か月前に、資格継続調査票を送付、受付	有効期限の13か月前に、更新審査調査票を送付、受付	(RA1)更新審査実施案内
2	審査項目	次の2点について審査 ・資格証明書の有効期間中において、認証されたNDT方法の業務に1年を超える大幅な中断がないこと。 ・資格証明書の更新又は再認証に先立つ12か月の期間内で、視力及び色覚の要求事項に適合していること。	認証資格の継続性を確認するため、次の2点を審査 ・12か月以内に視力検査を満足していること。 ・申請NDT方法において、大幅な中断がなく、満足な業務活動を継続していること。	〃
3	NDT業務の大幅な中断	資格証明書の有効期間中において、認証されたNDT方法の業務に1年を超える大幅な中断がないこと。	申請NDT方法及び分野のNDT業務を遂行できなくなる期間が連続して1年間又は2回以上の期間の総計で2年間を超えること。	〃
4	資格証明書の発行	・資格継続調査適格者に資格登録台帳を発行 ・資格登録台帳提出者に資格証明書を発行	・更新審査適格者に更新料の払込用紙を送付 ・入金確認後、資格証明書を発行	〃
5	更新料	1NDT方法・レベル 5,000円（+消費税）	1NDT方法・レベル 7,000円（+消費税）	〃